

## 報告書

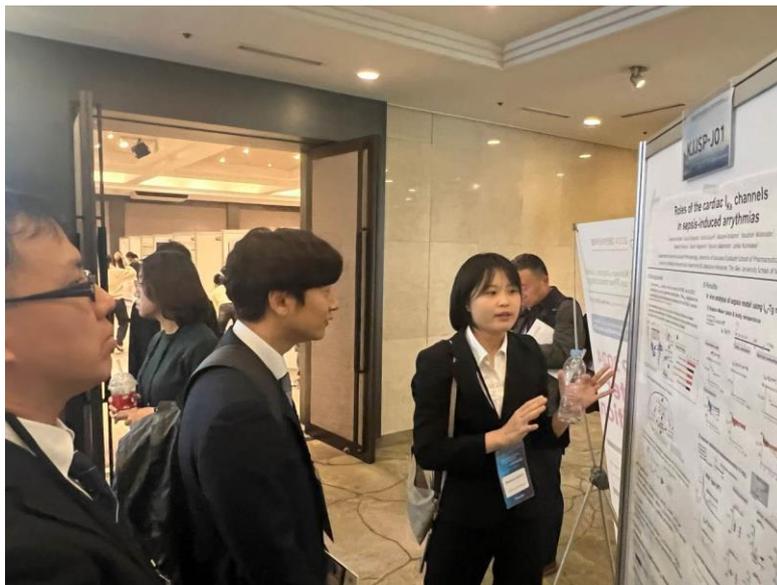
### The 25<sup>th</sup> KJJSPにてポスター発表

2024年11月7日～9日に韓国の済州島で開催された「The 25<sup>th</sup> Korea-Japan joint seminar on pharmacology (KJJSP)」に参加致しました。KJJSPは、日韓両国の薬理学者が集い、2年ごとに開催される学術イベントです。最新の研究成果を発表し合い、参加者同士が討論を通じて知見を深めるだけでなく、日韓薬理学者の友好関係を強化する場としても位置づけられています。

私は、「Roles of the cardiac  $I_{Ks}$  channels in sepsis-induced arrhythmias (敗血症誘発性不整脈における心筋  $I_{Ks}$  チャンネルの役割)」という題目でポスター発表を行いました。本研究の目的は、敗血症による心機能障害の発症または予防に、心筋活動電位の再分極に寄与するカリウムイオンチャンネル( $I_{Ks}$  チャンネル)が関与しているかを明らかにすることです。発表では、 $I_{Ks}$  チャンネルを心臓特異的に導入した遺伝子改変マウスが、 $I_{Ks}$  チャンネルを発現していない野生型マウスと比較して、敗血症の生存率が向上し、心臓電気活動の異常が抑制されたことを報告しました。

今回の発表では、説明時間に制限がなく、フランクな雰囲気に対話しながら進められたため、リラックスして臨むことができました。参加者には医学系の先生方が多く、特に敗血症研究や治療への応用の難しさについて議論をすることができました。発表中、研究内容に関連して「敗血症病態の男女差」について質問を受ける場面がありました。少し専門的な内容であったため即座に英語で答えるのは難しく、単語を繋ぎ合わせて何とか答えた形になってしまいましたが、和やかな雰囲気だったおかげで焦らず対応できました。この経験は、自分の英語力を改めて見直す良いきっかけとなりました。また、研究内容や結果について多くの方に興味を持っていただけたのはとても嬉しかったです。質問を通じて自分の研究に新たな視点を得ることができたため、今後の研究に活かしていきたいと思えます。

この度は、貴重な機会を与えてくださり、ありがとうございました。



薬食生命科学総合学府 薬科学専攻 生態情報分子解析学講座  
博士前期課程2年 服部 希海